



# 放射線部門システムと薬剤部門システムの調達について

大会運営局 医療サービス部

## 1. 審議事項

放射線と薬剤の二つの部門システムの導入に関して審議、承認いただきたい。

### 2. 実施概要

放射線部門システムと薬剤部門システムの導入に関して調達購 買契約を締結する

- 1. 放射線部門システム(HCC MED14要求事項) 放射線機器等(超音波検査、眼底検査等含む)により撮影された 画像を、フィルムに代わり医用画像標準規格(DICOM)により 管理するシステム
- 2. 薬剤部門システム( HCC MED14要求事項、ゲームズ・ガイドの推奨事項) 処方依頼に対し処方内容が適正かチェックし、最新の薬剤情報をもとに調剤 過誤の防止、調剤の円滑化を支援するシステム

# 3. 業務内容

#### 1)放射線部門システム

項目	目的	必要性
医用画像管理	<ul><li>医用画像をデータデータ ベースで管理する。</li></ul>	<ul><li>紙やフィルムで管理すると、その管理コストは膨大になる</li><li>システム化によって各会場・分村診療所等からリモートで画像にアクセスすることができる</li></ul>
各種診断装置 連携	<ul><li>電子カルテと各種画像診 断装置(MRI, X線等)を繋 ぎ、検査予約情報の連携 を支援する。</li></ul>	<ul><li>電子カルテからのオーダー内容を、全て紙を使って診断装置の技師に伝えることになり、医療ミスのリスクが増す</li></ul>
検像支援	<ul><li>撮影画像がサーバーに送られる前にチェックを行う。画像の向き、順序などを確認し、修正するのを支援する。</li></ul>	<ul><li>撮影された画像を手作業でチェックしたり、 修正したり、あるいは再検査を指示することになり、撮影技師や患者担当医師の負担が増える。</li></ul>
読影レポート 作成支援	• 読影医の検査画像レポー ト作成を支援する	• 読影医と患者担当医が、常に一緒に画像を 確認することになり、各患者への診療時間 が増大する

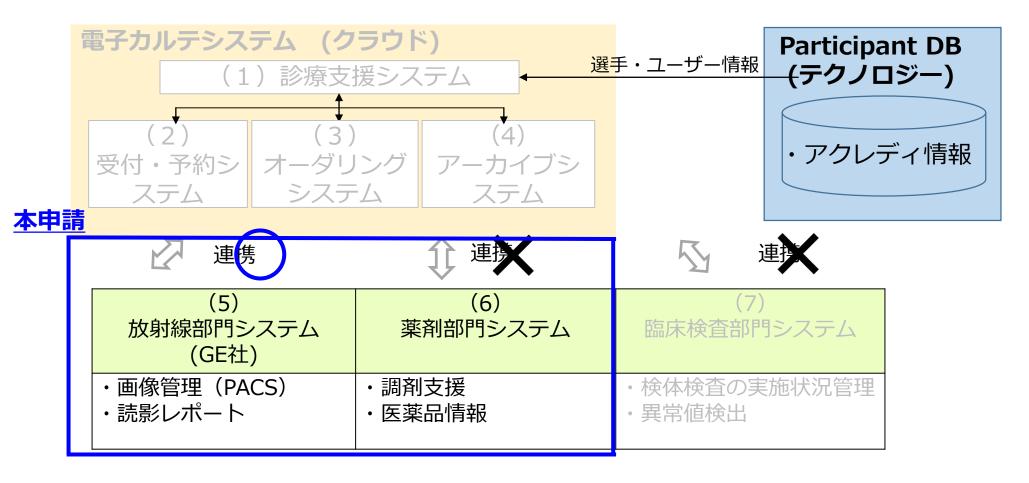
**TOKYO 2020** 

## 3. 業務内容

#### 2)薬剤管理システム

項目	目的	必要性	
	• システムによる処方監査	• 薬剤が適切かどうかを、薬剤師が手作業で 判断することで誤った判断をするリスクが 増す	
薬剤の調剤支援	<ul><li>薬袋作成(英語)</li><li>医薬品の情報提供(英語)</li></ul>	<ul><li>薬剤名・用法を(英語で)記入した薬袋を患者に渡すことが法律で求められている</li><li>処方された薬剤の(英語の)情報を患者に渡すことが法律で求められている</li></ul>	
薬剤管理指導業 務支援	<ul><li>薬歴の確認、処方内容の確認、禁止薬物への対応、患者の説明と指導</li></ul>		

#### 4. 電子カルテシステムと部門システムの関係



\*) 放射線部門システムのみ電子カルテシステムと連携を行う。

# 5. 関係ステークホルダ

	内訳	発注先	予定調達方式	契約内容 (期間)			
放射線部門システム							
	ソフトウエア	GE Healthcare Japan	特別契約	購入			
	ハードウエア (専用モニタ等)	未定 [GE Healthcare Japan提供]	<ul><li>① 競争入札、</li><li>もしくは</li><li>② 特別契約</li></ul>	<ol> <li>リース (20年4月~9月) もしくは</li> <li>購入</li> </ol>			
	ハードウエア (サーバ関連)	未定 [Fujitsu提供]	<ol> <li>競争入札、</li> <li>もしくは</li> <li>特別契約</li> </ol>	① リース (20年4月~9月) もしくは ② 購入			
薬剤部門システム							
	ソフトウエア	- EMシステムズ	特別契約	レンタル (20年4月~9月)			
	ハードウエア						